

山梨県における気候変動 適応への取組について

2019年7月26日（金）
気候変動適応関東広域協議会 第2回協議会
山梨県 エネルギー局 エネルギー政策課

1

取組の経緯

2015（平成27）年1月	「府内調査」開始
2016（平成28）年2月	「府内検討会」開催 ・今後の取組方針等を確認
2016（平成28）年2月	「温暖化対策部会」開催 ・国の適応計画策定の内容 ・県の適応策策定に向けた取組について説明
2017（平成29）年3月	「山梨県地球温暖化対策実行計画」改定 ・計画期間：2017（平成29）年度～2030（平成42）年度 ・温室効果ガス排出量削減目標 2020年 18%削減（2013年比） 2030年 26%削減（2013年比） 2050年 「CO ₂ ゼロやまなし」の実現 ・進行管理指標を設定 ・「適応策」を追加

2

気候変動による影響評価の分野・項目別分類体系

分野	大項目	小項目	重大性	緊急性	確信度	分野	大項目	小項目	重大性	緊急性	確信度	
農業・林業	農業	水稻	●	●	●	自然災害	生息系 群の変動・個体	在来種	●	●	●	
		果樹	●	●	●			外来種	●	●	△	
		麦、大豆、飼料作物等	●	△	△		水害	洪水(※1)	●	●	●	
		野菜・花き	—	△	△			内水(※2)	●	●	△	
		畜産	●	△	△			土砂災害	土石流・地すべり等	●	●	△
		病害虫・雑草	●	●	●		健康	死亡リスク	●	●	●	
		農業生産基盤	●	●	●			熱中症	●	●	●	
		森林・林業	特用林産物	●	●	□		感染症	蚊媒介感染症	●	△	△
		野生鳥獣による影響	●	●	—	その他		温暖化と大気汚染の複合影響	—	△	△	
		水環境	湖沼・ダム湖	●	△	△		産業・経済活動	観光業	●	△	●
水環境・水資源	水資源	水供給(地表水)	●	●	△	県民生活	イクラ・ライフ等	水道、交通等	●	●	□	
		水供給(地下水)	◆	△	□		暑熱による生活への影響	●	●	●		

(山梨県地球温暖化対策実行計画
第5章 抜粋)

(※1) 河川から水があふれること
(※2) 下水道等から水があふれること

3

凡例:

【重大性】 ● : 特に大きい ◆ : 「特に大きい」とは言えない — : 現状では評価できない

(観点) 社 : 社会、経済 : 経済、環 : 環境

【緊急性】 ● : 高い △ : 中程度 □ : 低い — : 現状では評価できない

【確信度】 ● : 高い △ : 中程度 □ : 低い — : 現状では評価できない

適応策の内容（抜粋）

農業への影響

果樹	重大性 ● (社・経)	緊急性 ●	確信度 ●
【研究・普及機関】 果樹試験場、農務事務所			

現在の影響

近年の気象変動により、成熟期のぶどうの着色不良や着色遅延が発生しています。また、果実品質の低下や収穫量の減少など、温暖化等が関与したと思われる影響がでています。今後は、ぶどうや桃、とうとう等で、既存の主要産地が栽培適地でなくなる可能性があるほか、高溫による生育障害が多発することが想定されています。

適応策

- 既存施策
- 試験研究におけるぶどうの着色向上など新たな技術策の確立
- 普及組織における安定生産に向けた指導

今後の方向性

果樹における温暖化の影響を最小限に食い止めるため、試験研究組織において新たな技術策の確立を進めています。確立された技術については、現場への迅速な普及図るため、普及組織が主体となり、安定生産に向け現地実証などをを行う中で、技術の定着に向けた指導を進めます。

開拓計画等

新・やまなし農業大綱、普及活動年度計画



ブドウの着色向上対策 (皮状はく皮)

猛暑による生活への影響

暑熱による生活への影響	重大性 ● (社・経)	緊急性 ●	確信度 ●
【普及機関】保健所			

現在の影響

樹木による緑陰がない舗装道路は、緑陰があるところと比較して10°C以上近く温度が高くなるなど、都市部における気温の上昇は、快適な生活環境に影響を及ぼしています。

都市部によるヒートアイランド現象に、気候変動による気温上昇が重なることで、都市部ではより大幅に気温が上昇することが懸念されています。

適応策

- 既存施策
- 県ホームページによる熱中症予防啓発、各種イベントにおけるリーフレット配付等、普及啓発の実施(再掲)
- 市町や学校などの公共施設を地域のシンボルとなる緑地としての整備
- 緑のカーテン運動の推進
- やまなしクールシェアの推進

今後の方向性

- 引き続き、熱中症予防のための普及啓発を行っていきます。(再掲)
- 快適な生活環境に配慮した緑づくりを進めるため、モデル的に公共施設に緑地を整備することで、緑化思想の普及啓発を図っています。
- ぶどうを利用した緑のカーテンを身近な公共施設で取り組むなど、エコライフ県民運動の普及を図ります。
- 熱中症対策として有効なクールシェアを呼びかけ、民間施設等のクールシェアスポットへの登録や協賛事業により、やまなしクールシェアスポットの拡大を図ります。

開拓計画

山梨県緑化計画、ダイナミックやまなし総合計画



ぶどうを利用した緑のカーテン
【東山梨合同庁舎】

4

今後の課題



- ・地域気候変動適応センターの体制確保
- ・庁内の関係部局の理解促進及び連携
- ・適応策に係る進行管理
- ・県民や事業者への普及促進